

平成22年度集落活性化調査委託事業

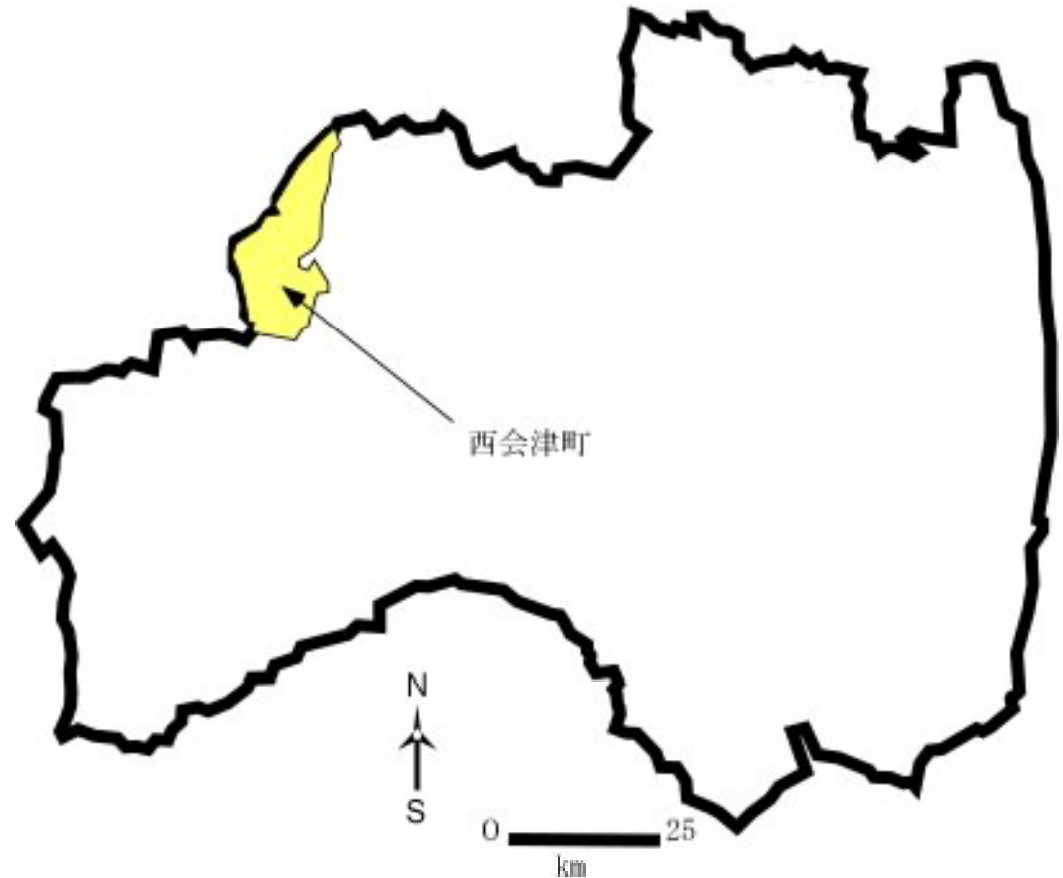
西会津町上谷地区 集落調査  
～いきがい拠点を目指して～

宮城教育大学社会科教育専攻  
小金澤研究室  
仙台いぐね研究会

# I 上谷地区の概要

- ・ 上谷地区は程窪集落、泥浮山集落、長桜集落、小杉山集落という4集落で構成されている。
- ・ 標高、400mに位置し、山に抱かれた地区。
- ・ 人口は63人（男性:28人 女性:35人）
- ・ 世帯数は24世帯（程窪集落:7世帯 泥浮山集落:5世帯 長桜集落:6世帯 小杉山集落:9世帯）
- ・ 少子高齢化が進み、高齢化率は程窪集落:50% 泥浮山集落:100% 長桜集落:44.4% 小杉山集落:50%

⇒住民の方も集落が無くなってしまふことを危惧している!!



# 問題意識

- 上谷地区の目玉は何なんだろう。
- 誰が上谷地区を支えているのだろう。
- どんな生活が営まれているのだろう。
- 上谷地区は何があればより良くなるのだろう。

私たちのほとんどが、今回初めて山村を訪れるということで、調査に先立ち、以上のような問題意識を考えました。

地域を『よそ者』という新鮮な目から捉え、現状を分析し、地域に合った提案することを目標にしました。

# Ⅱ 調査内容

## 1. 調査方法

### ① 景観調査

⇒地域の方に案内していただき、4集落の『見どころ』を確認しました。また、よそ者である大学生が入ることにより、当たり前と思われていたものの価値が再認識されました。

### ② お宝マップづくり

⇒景観調査で再認識された『見どころ』を、地域の『お宝』として皆が共有するためマップ化しました。また、各集落の方からヒアリングしながら仕上げていったので、集落単位の詳細な『お宝』が明らかになりました。

### ③ 集落の親戚ネットワーク調査

⇒集落各世帯の子ども、孫の所在地や職業を明らかにし、集落を支えている親戚ネットワークを明らかにしました。

## 2. 上谷地区の『お宝』

### 《豊富な湧水》



上谷地区の各集落に自慢の湧水がありました。とても冷たく、おいしいお水でした。

しかし、看板もなく、水飲み場も整備されていませんでした。

知り合いに頼まれて送るほどの水だということにもったいない!!

上谷地区には貴重な歴史遺産が数多くありました。

写真は1620年の大地震で被害を受けた慰霊碑です。上谷地区は大地震で消滅した跡に、生き残った人が再建した地区だということが分かりました。

### 《貴重な歴史遺産》



## 《魅力溢れる古民家》



上谷地区では古民家が多く残っており、どこか懐かしいような空気に包まれています。

養蚕を行っていた名残から、二階建ての珍しい古民家も残っています。

## 《豊かな山の幸》

写真は原木栽培のナメコです。

この他にもワラビやタラの芽などの山菜、天然のワサビなど、豊かな山の幸が簡単に手に入ります。



景観調査を踏まえて、

いよいよヒアリング開始です！！



# その結果、

## こんなお宝マップができあがりました。

### 《小杉山集落のお宝マップ》

お宝マップには景観調査で分かった『見どころ』の他に、集落の人しか知らない山菜採りのポイント、訪れる人のために駐車できる場所も盛り込まれました。

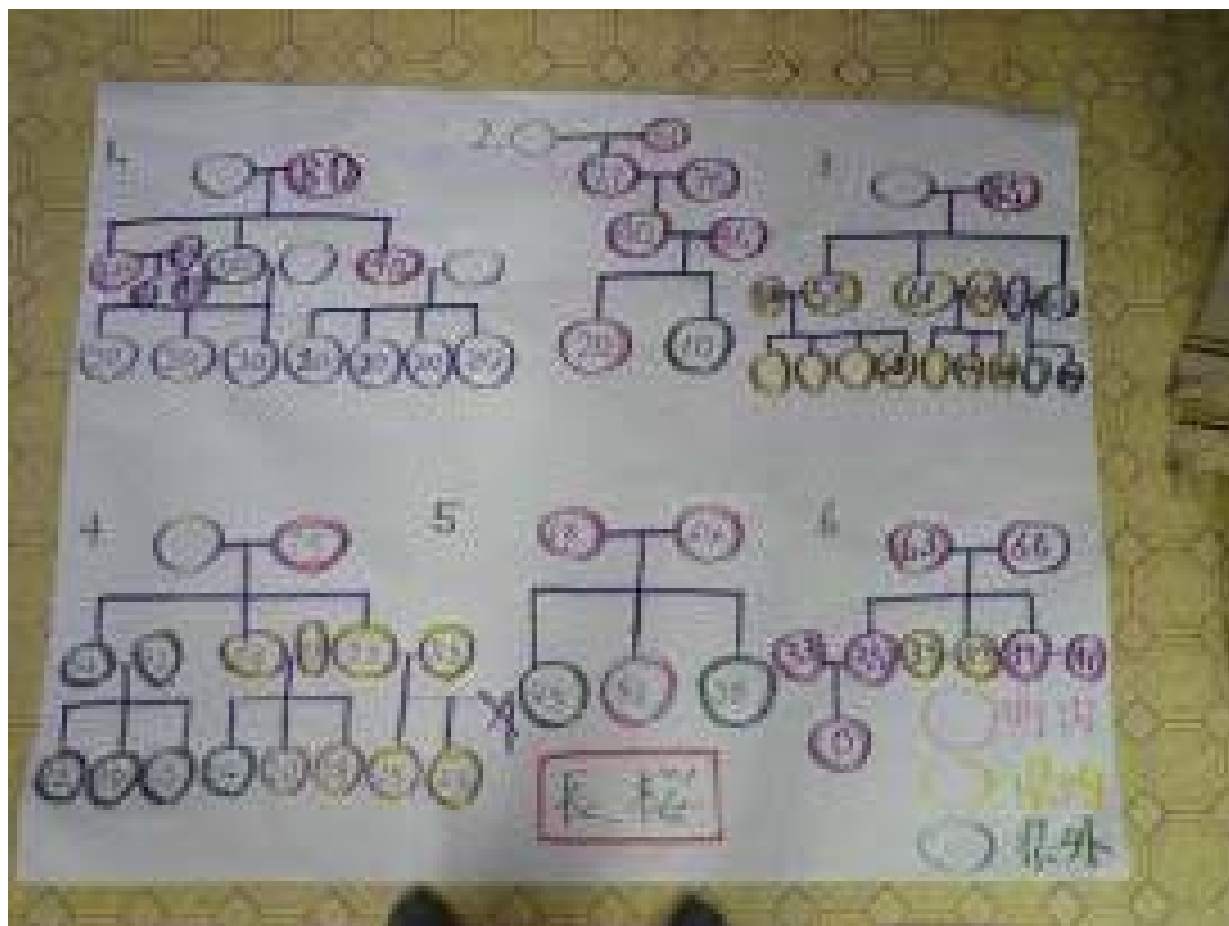
さらに、『よそ者から見た集落の素晴らしいところ』も写真で張り出され、充実したマップになりました。





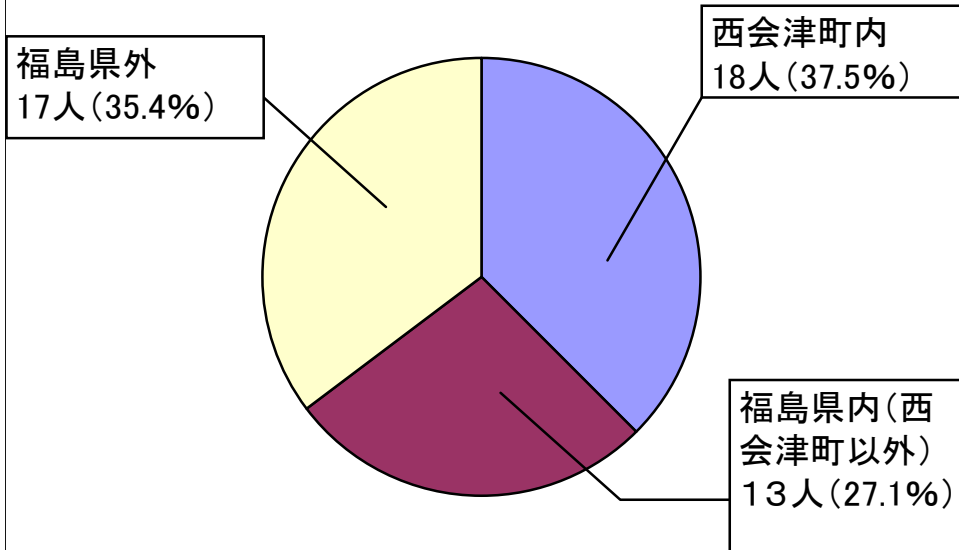
### 3. 上谷地区を支える親戚ネットワーク

高齢化、過疎化が進む上谷地区ですが、親戚のネットワークによって支えられていることが、ヒアリングを通じて明らかになりました。

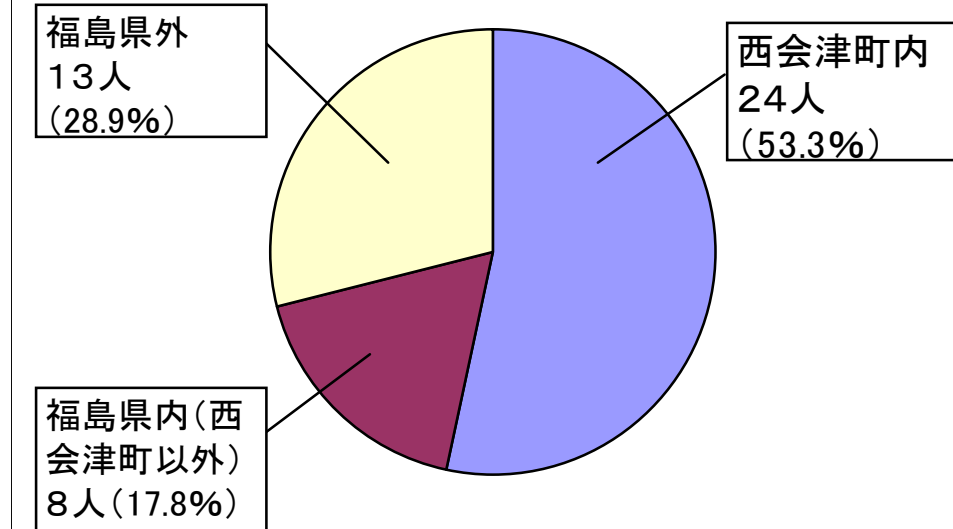


上のようなネットワーク図を作り、整理しました。

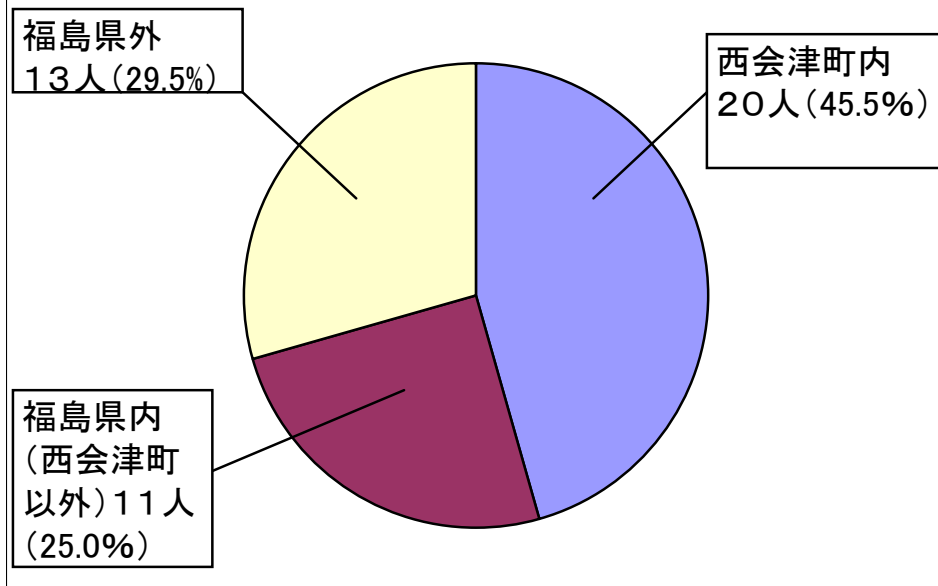
長桜集落の親戚ネットワーク



程窪集落の親戚ネットワーク



泥浮山集落の親戚ネットワーク



上谷地区では過疎化、高齢化は進展しているものの、子、孫世代は各集落ともに同じ町内に20人前後が居住していました。

さらに、福島県内を含めると30人前後が、集落を維持している親戚ネットワークを形成していることが明らかになりました。

※小杉山集落はヒアリングの結果、親戚の居住地が不明であることが多かったので、今後調査予定です。

## Ⅲ 都市・農村交流会

### ① 上谷地区自慢の地元料理展覧会

集落の皆さんから、ご自慢の地域食材を使った料理を1世帯1品持ち寄ってもらい、地元料理展覧会を開催しました。

### ② 全世帯のみなさん、町長さん、町役場関係者と学生たち(留学生も含む)の大交流会。

異世代とのコミュニケーションで盛り上がりました。

## 《交流会風景》



交流会を通じて、地元料理の素晴らしさを地区の方に再確認していただきました。

また、交流することで人々が生き生きし出すこともわかりました。

## 《地元の食材を使った料理》



# IV 提案・天空の郷

調査結果を踏まえ、

私たちは**交流拠点づくり**として、『**天空の郷**』を提案します!!

## ①休校の小学校校舎を活用



上谷地区のほぼ中央に位置し、各集落へのアクセスも良好です。

また、校舎内部も広く、綺麗であることから、この小学校を活用することを考えました。

## ②来訪者や親戚が春・夏・秋、自由に来れる宿泊、交流施設

親戚ネットワークの調査から、**山間部で積雪量も多いため**、県外の親戚は正月に訪れていないことがわかりました。

このことから、**冬季の運営は行わないことにしました**。また、日々、運営していることが地域の方の重荷になってしまわぬよう、人が動きやすい土日祝日に限定した運営を考えました。

## ③地元の水・農産物・料理でおもてなし

交流会で振る舞われた地元の料理がおいしく、素晴らしい技術が使われていたので、もっとスポットライトが当たるべきだと思いました。

また、5年前くらいまではソバも栽培し、自分たちでソバ打ちもしていたことがわかったので、特産物である山菜、キノコを利用したソバを出すことも考えました。

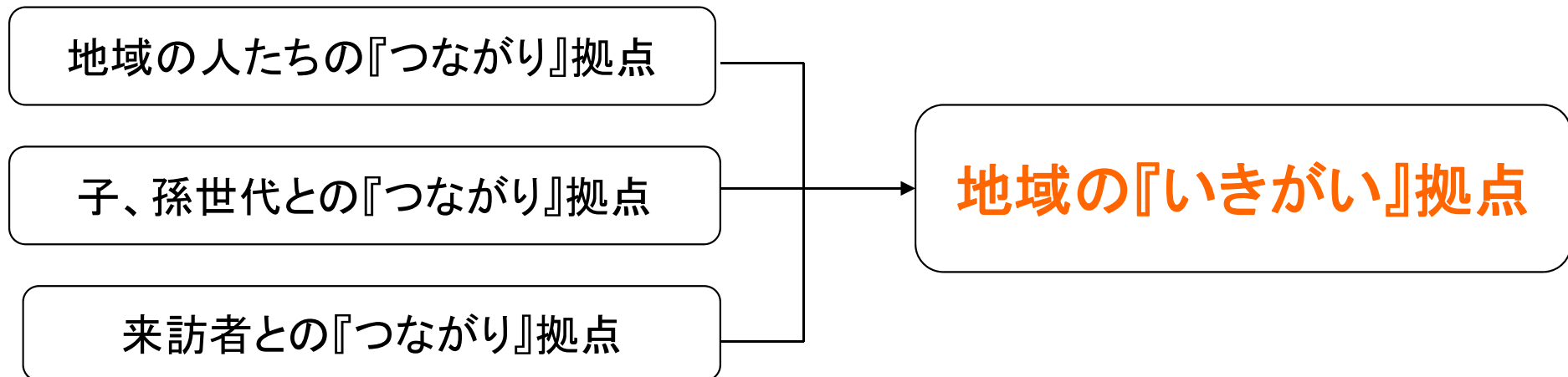
#### ④地域の人、親戚ネットワークで運営主体を組織

地域の人だけでなく、親戚ネットワークを含めた運営主体を組織することを考えました。

その理由としては、各地域に居住しているので口コミでの宣伝効果が考えられること。

もう一つは、親世代が無くなっても、子、孫世代と集落のつながりを残すことです。

以上、4つの内容を整理すると…



お節介ながら、こんな設計図まで作りました。





ご清聴ありがとうございました



冬には、地元料理レシピ大会を開催予定。